

## クラウドクレジット・ファンディング合同会社

2023年4月27日

### ニカラグア金融事業者支援ファンド1号

#### 契約期間延長(3回目)のお知らせ

投資家の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、標記ファンドは本件匿名組合契約書第4.1条第2項にて、本件匿名組合契約の有効期間を2021年4月末日までとしておりましたが、2021年4月および2022年4月に12か月ずつの期間延長を行い、延長後の有効期間を2023年4月末日までとしておりました。このたびクラウドクレジット・ファンディング合同会社（以下、「本営業者」）は、以下に述べる事由により契約期間の延長（3回目）を行い、有効期間を2024年4月末日までといたします。

#### 【要旨】

- 本営業者グループ会社（後述）は2021年3月までに、本件債務者たるI社（後述）より、返済金の一部を不動産による代物弁済に代えて、現金100,000米ドルおよび不動産（土地2個）の譲渡を受けることで、I社との債権債務関係を終了しました。
- 本営業者は、本営業者グループ会社が不動産を売却して残余財産の回収を完了するまで本ファンドの運用を継続する方針です。

#### 【契約期間延長の事由】

本ファンドにおいて本営業者は エストニアのグループ会社である Crowdfund Estonia OÜ（以下、「本営業者グループ会社」といいます。）に米ドル建てで貸付を行い、本営業者グループ会社はこの貸付金を原資に、(案件①) 中南米のニカラグア共和国（以下、「ニカラグア」といいます。）にて中小企業向け貸付を中心に、個人・法人向け貸付事業を展開している金融機関（以下、「I社」といいます。）に対して貸付を行うとともに、(案件②) Mintos という P2P レンディングプラットフォームを介して、ジョージア（旧グルジア共和国）の会社 Creamfinance Georgia LLC の取り扱う個人向けローン債権の購入を行いました。

その後、本営業者グループ会社は、I社が元利金の約定返済を完了することが困難なことを踏まえて、I社より元利金の一部としての現金の返済および不動産（土地2個）の提供を受けて、残る債権を放棄

しました。経緯に関しては、2021年1月18日付「ニカラグア金融事業者支援ファンド全号 分配時報告」<sup>1</sup>をご参照ください。

2023年4月現在、本営業者グループ会社はI社より取得した不動産の売却による残余財産の回収を目指しています。

## 【回収の状況】

本営業者グループ会社は、不動産業者の市場調査を踏まえ、専門家の意見を聞いて、段階的に希望売却価格を見直しながら各不動産を売却する機会をうかがっています。

(物件1：マナグア郊外の土地) 不動産業者が市場を再調査し、近隣土地の取引額最安値に合わせて2022年10月1日より希望売却価格をUSD 158,351.76に見直した。

(物件2：養豚場) 不動産業者が市場を再調査し、物件1と同様に、希望売却価格をUSD113,600に見直した。

なお、本営業者グループ会社または本営業者が本件の残余財産を回収するために要した費用等は、ファンド資産から控除されます。対象となる費用等には、土地売却手続きのために現地弁護士へ支払う顧問料や土地売却までの管理等に要する費用等が該当します。

以上の状況を踏まえて、本営業者は本件匿名組合契約の契約期間を延長し、2024年4月末日を延長後の契約期間満了日といたします。ただし、現地での資金の回収作業が終了し、2024年4月末日を待たずにすべての資金が投資家の皆様に分配される際は、その日から1ヶ月を経過した日において、契約の終了とさせていただきます。

引き続き、何卒よろしくお願い申し上げます。

会社概要 (クラウドクレジット・ファンディング合同会社)

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016年3月

【資本金】 1,000,000円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号

<sup>1</sup> <https://platform.crowdcredit.jp/operation/entry/1349/49>